

# 平成29年度公益財団法人山梨県体育協会事業報告書

## 事業報告

### 事業概要

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命がある。このため経営計画やスポーツ推進計画に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「体育協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行った。

### 事業実施状況

#### I 体育協会の運営

##### 1 理事会等の運営

理事会、評議員会、総務委員会等の諸会議を開催した。

(1) 理事会	第1回通常	平成29年6月 6日(火)
	第2回通常	平成29年8月 8日(火)
	第3回通常	平成30年3月15日(木)
(2) 評議員会	定 時	平成29年6月22日(木)
	臨 時	平成30年3月23日(金)
(3) 総務委員会	第1回	平成29年6月 1日(木)
	第2回	平成29年8月 1日(火)
	第3回	平成30年3月 9日(金)

##### (4) 加盟団体関係会議

- ①平成29年4月12日(水) 加盟競技団体・学校体育団体理事長会議
- ②平成29年4月12日(水) 市町村体育協会事務局長・事務担当者会議

#### 2 事務局の運営

(1) 本協会が実施する事業推進のため、賛助会員の加入推進並びに寄付金(免税寄付金)の拡大及び制度の活用促進等、自主財源の確保に努めた。

(2) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、「人材育成委員会」を組織し、研修やシステムについて検討を行った。また、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理の向上やコンプライアンスの徹底を図った。

#### (公益目的事業)

#### II スポーツの推進

##### 1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催した。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	平成29年 6月14日(水)
	第2回	平成29年11月15日(水)
	第3回	平成30年 3月 7日(水)
(2) 広報委員会	第1回	平成29年 5月17日(水)
	第2回	平成29年11月16日(木)
	第3回	平成30年 3月 5日(月)

(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	平成29年 6月 8日(木)
	第2回	平成29年11月 9日(木)
	第3回	平成30年 3月 8日(木)
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	平成29年 5月 8日(月)
	第2回	平成30年 3月 5日(月)
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	平成29年 5月18日(木)
	第2回	平成29年 6月29日(木)
	第3回	平成29年10月 5日(木)
	第4回	平成30年 2月22日(木)

## 2 こどものスポーツ機会の充実

### (1) スポーツ少年団の育成

#### ① スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、幼児加入に向けた取り組みについて、内容、方法を検討した。

#### ② 団員交流の促進

特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等をおして創造性や協調性を育むことを目的に、各種大会の開催及び助成を行うとともに、各種中央大会へ団員及び指導者の派遣を行った。

#### a 県内交流事業

- ・ 第39回山梨県スポーツ少年大会の開催  
第48回関東ブロックスポーツ少年大会と兼ねて開催した。  
県内参加団員31人 指導者6人
- ・ 第10回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催  
平成29年4月8日(土)  
山梨中銀スタジアム他 参加団員 377人(37団)
- ・ 第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催  
バドミントン 平成29年6月11日(日) 参加団員47人  
空手道 平成29年6月11日(日) 参加団員45人  
軟式野球 平成29年6月17日(土)・18日(日) 参加団:16チーム  
ミニバスケットボール 平成29年6月11日(日)・18日(日) 参加団:40チーム  
バレーボール 平成29年6月25日(日)・7月2日(日) 参加団:42チーム
- ・ 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催  
バレーボール 平成29年11月5日(日) 参加団7チーム  
剣道 平成29年12月2日(土) 参加団員139人

#### b 県外交流事業

- ・ 第48回関東ブロックスポーツ少年大会の開催及び団員・指導者の参加  
平成29年8月4日(金)から6日(日)  
山梨県立八ヶ岳少年自然の家 参加団員77人 参加指導者13人
- ・ 第55回全国スポーツ少年大会への団員・指導者の派遣  
平成29年7月28日(金)から31日(月) 新潟県 派遣団員5人 派遣指導者1人
- ・ 第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催及び派遣  
(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)  
平成29年7月28日(金)から30日(日) 埼玉県 派遣団員93人 派遣指導者23人

#### c 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣

- ・ 第40回 剣道 平成30年3月25日(日)から27日(火)東京都  
派遣団員7人 派遣指導者1人
- ・ 第15回 バレーボール 平成30年3月25日(日)から28日(水)群馬県  
派遣団員10人 派遣指導者2人

### ③ 市町村スポーツ少年団の組織強化

市町村スポーツ少年団と連携し、組織強化策に積極的に取り組み、地位及び単位団のさらなる活性化を図った。

- a 市町村事務担当者会議の開催 平成30年2月19日(月)  
スポーツ少年団の理念と意義について担当者間の意識の共有を図った。
- b 県内スポーツ少年団交流事業への助成  
県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業へ助成した。
- c 県外スポーツ少年団交流事業への助成  
近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業へ助成した。
- d 母集団育成事業への助成  
単位団を支える”母体となる集団”の育成を図る事業へ助成した。
- e 体力テスト事業への助成  
自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業へ助成した。
- f 指導者育成事業の委託  
指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を委託した。

### (2) スポーツの巡回指導

子どもたちが身体活動の持つ楽しさを体験し、限られた時間や場所でも、創意工夫して自発的に活動できるよう、学童保育を行っている児童館などを巡回する「スポーツキャラバン」のモデル事業として、昭和町内の児童館(2施設)に協力をいただき、10回のプログラムの調査や検討を行った。

## 3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域スポーツ振興を図り、明るく豊かで活力ある、ふるさとづくりを目的に開催した。

### (1) スポーツ大会の開催

#### ① 山梨県体育祭り

- a 平成29年度実行委員会総会の開催  
平成29年4月25日(火) (第70回夏秋季大会・第71回冬季大会)
- b 第70回夏秋季大会(参加監督・選手 802人)  
カヌー競技 平成29年5月28日(日) 精進湖カヌー競技場  
ボート競技 平成29年6月17日(土) 河口湖漕艇場  
セーリング競技 平成29年6月18日(日) 山中湖村ヨットハーバー  
少林寺拳法競技 平成29年7月 9日(日) 小瀬スポーツ公園武道館  
水泳競技 平成29年8月20日(日) 小瀬スポーツ公園水泳場  
クレー射撃競技 平成29年8月20日(日) 大月射撃場
- c 第70回秋季大会(参加監督・選手 7,434人)  
組合せ抽選会 平成29年7月21日(金)  
中心会期(39競技)平成29年9月16日(土)・17日(日)・24日(日)  
小瀬スポーツ公園他  
総合開会式 平成29年9月16日(土) 小瀬スポーツ公園武道館  
総合閉会式 平成29年9月24日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

d 第71回冬季大会(参加監督・選手 430人)

スケート競技(スピードの部) 平成30年2月11日(日)八ヶ岳スケートセンター

スケート競技(フィギュアの部) 平成30年2月18日(日)

小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

スキー競技

平成30年3月18日(日)サンメドウズ清里スキー場

アイスホッケー競技

平成30年3月24日(土)・25日(日)

小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

② 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催した。

a 実行委員会総会の開催

平成29年4月7日(金)

b 第29回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

平成29年 5月14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

マスターズ陸上競技など19種目 2協賛種目 参加選手 4,695人

③ 第54回県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

平成29年12月2日(土)・3日(日) 参加17チーム

(2)参加機会の充実

① スクールの開催

a スポーツ健康づくり教室

生涯スポーツの必要性や継続して行うことの大切さが理解できるよう、スポーツを行う機会を提供し、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、参加者のスポーツライフが充実するよう支援した。

小瀬スポーツ公園 教室数 100 参加者数 7,515人

富士北麓公園 教室数 13 参加者数 495人

b トレーニング室利用者講習・実技指導

・ 利用者講習会

トレーニング室利用者を対象に、安全で効果的な利用ができるよう、講習会を行いトレーニング室利用者証を発行した。

利用者講習会受講者数 5,553人

・ 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善のため、体組成器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報など10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

実施者数 573人

・ 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導した。

実技指導実施者数 14,513人

c 軽スポーツの普及

山梨県レクリエーション協会と連携し、家族や地域の人たちの絆を深めるきっかけづくりに繋がる軽スポーツやニュースポーツを体験できる場を提供した。また、ルール解説などをまとめたガイドブックを作成するための種目や内容について検討を行った。

## ② スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽快感を体験することで、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけにした。

なお、オリンピック・パラリンピック種目の中で、体験機会の少ない競技種目を紹介、体験することを目的とした「キッズ トライ スポーツ in 小瀬」を開催した。

また、第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会「富士の国やまなし国体」の会場となる小瀬スポーツ公園アイスアリーナにおいて、元オリンピック出場選手でプロフィギュアスケーターの鈴木明子氏を講師に招き「鈴木明子 Premium Skating Lesson」を開催した。

小瀬スポーツ公園	実施イベント日数	16	参加者数	3, 328人
富士北麓公園	実施イベント日数	9	参加者数	1, 123人

## ③ セミナーの開催

### a スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催した。

テーマ「スポーツにおけるケガの予防とケガからの復帰

～アスレティックトレーナー・整形外科医からの提言～

平成30年2月17日(土) 小瀬スポーツ公園武道館 参加者数 122人

### b 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や基礎的な知識を提供するミニセミナーを開催した。

第1回 じっくり「ストレッチ」を学ぶ 平成29年12月15日(金) 参加者数10人

第2回 いきいきパワーアップセミナー 平成30年 2月 9日(金) 参加者数34人

## ④ 特別講習会

県民のスポーツへの関心を高めるため、ジョギング愛好者を中心に、世界陸上銀メダリストの土佐礼子氏(三井住友海上女子陸上競技部)を招聘し、特別講習会(走り方教室)を開催した。

参加者数 第1部(対象:児童生徒)99人、第2部(対象:一般)92人

## (3) 地域スポーツの推進

### ① 高齢者向け体力測定

活力ある高齢者社会を目指し、高齢者の健康体力づくりに積極的に取り組み、その方策として安全に測定できる高齢者向け体力測定の開発を行った。

### ② 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

派遣回数 31回 参加者数 1, 219人

### ③ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対し、軽スポーツ用具の貸し出しを行った。

小瀬スポーツ公園 貸出回数 237回 延べ利用者人数 25, 184人

富士北麓公園 貸出回数 25回 延べ利用者人数 1, 335人

## (4) 障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツに関する情報を得るため、専門的知識やノウハウなどの情報を有する

山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体との連携を構築するとともに、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3on3大会とカーリング大会を開催した。

## 4 競技スポーツの推進

### (1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図った。

#### ① 競技力向上対策本部の運営

##### a 本部会議

平成29年6月15日(木)、9月7日(木)、11月9日(木)、平成30年3月8日(木)

##### b 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議

平成29年5月24日(水)、11月14日(火)、平成30年3月13日(火)

##### c 国体派遣担当者・事務担当者会議

平成29年7月4日(火)

##### d 競技団体個別会議

平成30年2月5日(月)・9日(金)・15日(木)・16日(金)

#### ② 一貫指導体制の確立

##### a ジュニアアスリート・トータルサポート事業

・ 優秀なジュニアアスリートを発掘し、中学生、高校生までの長期的計画による競技力の向上、さらにアスリートから指導者を育成するまでのシステムを構築するための事業に対し、その経費の一部を助成した。

・ 東京オリンピックに出場する可能性が高い選手を招聘し、県内選手や指導者に対し講習会を開催する事業に助成した。

また、この事業をより効果的に実施するため、日本体育協会が主催する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」に参画し、全国の有能なジュニアタレントとともに合宿等を開催した。(ウエイトリフティング競技)

実行委員会(年4回) ベルクラシック甲府

平成29年7月13日(木)、10月19日(木)、12月14日(木)、

平成30年3月16日(金)

フォーラム

平成29年11月19日(日) 笛吹市スコレーセンター 参加者数267人

基調講演:「アスリート育成パスウェイとタレント発掘・育成プログラム」

パネルディスカッション:「これからのタレント発掘と育成について」

合宿(年2回) 山梨県立日川高等学校ウエイトリフティング場

平成29年12月26日(火)から29日(金)

平成30年2月10日(土)から12日(月)

#### ③ 競技団体等への支援

##### a 競技団体選手強化事業

###### ・ 成年・少年

国民体育大会に向け、候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成した。

###### ・ スケート国体等

第73回国民体育大会冬季大会の本県開催競技であるスピードスケート、ショートトラック、フィギュアスケートの選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成した。

- b 成年チーム指定強化事業
- ・ 重点チーム強化  
国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し助成した。
  - ・ 指定チーム強化  
成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し助成した。
- c 海外派遣奨励金の交付  
日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣される個人・団体に交付した。
- d 競技団体等主催大会等助成事業  
関東大会・全国大会及び国際大会等の開催や本県選手の出場、活躍は本県スポーツの振興に大きく寄与するため、本県開催の関東級以上の14大会に助成した。
- e 2020年東京オリンピック選手助成・支援事業  
東京オリンピックに選手として出場する可能性を十分有している本県出身選手が、オリンピックや国民体育大会で活躍してもらうため、その選手の活動に対し助成した。  
認定証交付式 平成29年4月26日(水) 認定選手15人
- f 山梨県体育協会特別助成事業  
国民体育大会における上位入賞を目的に、将来、全国レベルの有望な選手として活躍できる選手・チームの育成、強化を図るため、競技団体から提案のあった特別な強化事業について、体育協会の自主財源から競技団体等に助成した。
- g 練習場確保事業  
県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成した。
- ④ 国民体育大会選手等の選定及び派遣  
予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣した。
- a 第72回国民体育大会関東ブロック大会  
中心会期 平成29年8月18日(金)から20日(日) 群馬県  
本部役員10人 監督・選手707人
- b 第72回国民体育大会  
会期前開催 平成29年 9月9日(土)から17日(日) 愛媛県  
本大会 平成29年 9月30日(土)から10日(火) 愛媛県  
<開会式 平成29年9月30日(土)>  
本部役員26人 監督・選手291人
- c 第73回国民体育大会  
冬季大会関東ブロック大会  
平成29年12月15日(金)から17日(日)(アイスホッケー) 群馬県  
監督・選手24人  
冬季大会スケート・アイスホッケー競技会  
平成30年 1月28日(日)から2月1日(木) 山梨県・神奈川県  
本部役員9人 監督・選手43人  
冬季大会スキー競技会  
平成30年 2月25日(日)から28日(水) 新潟県  
本部役員7人 監督・選手28人
- d 日本スポーツマスターズ2017への派遣  
平成29年9月 9日(土)から10日(日)(水泳) 兵庫県

平成29年9月13日(水)から19日(火)

⑤ 医・科学サポート

a 医学的サポート

・国体に参加する選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

・医学的分野について、指導・助言を行った。

平成29年7月13日(木) 整形外科的チェック ホッケー少年男子23人

b 科学的サポート

・体力・バイオメカニクス関係、栄養関係、心理関係、コンディショニング関係の4分野について、指導・助言を行った。

平成29年7月22日(土) トレーナー分野 ホッケー成年男女28人

c 国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

国体参加時にスポーツドクターを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

(2) 国民体育大会の開催

a 本県で開催した第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会の担当業務を遂行した。

b 2巡目の本県での国体開催に向けて情報収集を行った。

## 5 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

① 子どものための人材養成

a スポーツ少年団認定員養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者として指導・運営を行う指導者を養成する講習会を開催した。参加者数 185人

第1回 平成29年 6月17日(土)から18日(日) 小瀬スポーツ公園体育館

第2回 平成29年 8月26日(土)から27日(日) 小瀬スポーツ公園体育館

第3回 平成29年11月18日(土)から19日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

b スポーツ少年団認定育成員の養成

単位団指導者の中核であるとともに、認定員養成講習会の講師を務める認定育成員の養成のため、中央で行われる講習会に8人を派遣した。

平成29年10月28日(土) 東京都

平成29年11月19日(日) 東京都

c スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催した。

平成29年12月16日(土) 小瀬スポーツ公園体育館、参加者数 85人

d スポーツ少年団スポーツ指導者協議会への助成

組織の整備と活動推進のための事業に助成した。

e 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するための研究協議会に4名派遣した。

平成29年11月4日(土)から5日(日) 群馬県

f スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、

少年団の円滑な活動の推進を図った。

・ ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動する少年リーダーを養成した。

平成29年11月25日(土)から26日(日) 緑が丘スポーツ会館 参加者数18人

・ シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催した。

平成30年2月17日(土) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者数18人

・ リーダーの派遣

関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

平成29年10月28日(土)から29日(日) 東京都 団員3人 指導者1人

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

平成29年9月30日(土)から10月1日(日) 東京都 団員1人 指導者1人

② 生涯スポーツのための人材養成

a スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会を開催した。

平成29年6月3日(土)から4日(日) 小瀬スポーツ公園武道館 参加者数 39人

b 公認スポーツ指導員養成講習会

地域において、子ども達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象にあわせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催した。

開催競技 バレーボール 参加者数16人 弓道 参加者数20人

c スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保のため、日本体育協会開催の養成講習会へ2人の推薦を行った。

d アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保のため、日本体育協会開催の養成講習会へ2人の推薦を行った。

e スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深めるため、研修会を開催した。参加者数 216人

第1回 平成29年 6月10日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

第2回 平成29年10月 8日(日) 富士川町民会館

第3回 平成30年 2月25日(日) 富士吉田市鐘山総合体育館

f 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成した。

(2) スポーツ拠点の充実

① 地域スポーツの充実

a スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い推進強化を図った。

テーマ「地域に好循環を生み出すスポーツの力」

峡南地区 平成29年 6月20日(火) 身延町総合文化会館

中北地区 平成29年 6月27日(火) 北巨摩合同庁舎

富士・東部地区 平成29年 6月30日(金) 富士ふれあいセンター

峡東地区 平成29年 7月 4日(火) 甲州市民文化会館

b 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツを生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図った。

c 企業・大学との連携

- ・ 民間団体との共催事業を展開することにより、民間の持つノウハウ及びネットワーク等を活用し、各年齢層を対象としたスポーツ教室を共催した。
- ・ 高齢者の健康体力づくりのために、県下に6つある「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に、有資格者による運動指導を行った。

② 総合型地域スポーツクラブの育成・推進

a 広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援するとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導を行った。

広域スポーツセンター運営会議 第1回 平成29年 6月21日(水)

第2回 平成29年 9月13日(水)

第3回 平成30年 2月21日(水)

b 総合型地域スポーツクラブの支援・育成

県教育委員会と連携し、日本体育協会クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設立依頼や状況把握を行うとともに、スポーツクラブ運営の助言及び指導を行った。

c やまなし総合型スポーツクラブフェスタ

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするため、県内スポーツクラブと連携しフェスティバルを開催した。

平成29年11月3日(金) 小瀬スポーツ公園武道館 参加者数 340人

③ 管理施設の環境の充実

本協会の目的であるスポーツ振興を図るため、県有体育施設の指定管理者として施設の管理運営を行った。施設の管理運営については、本協会加盟団体と連携を図るとともに、職員一人ひとりがコスト意識を持って経費の節減に努めるとともに、多様なニーズを的確に把握し、より一層のサービスの向上と利用促進に努め、適正かつ公平な管理運営を行った。

a 指定管理施設

(平成26年度～平成30年度)

- ・ 小瀬スポーツ公園 平成29年度施設利用人数 732,542 人(前年度 718,214 人)
- ・ 富士北麓公園 222,222 人(前年度 205,855 人)
- ・ 八ヶ岳スケートセンター 18,409 人(前年度 18,390 人)  
(営業期間 H29.11.20～H30.2.18) 6日間営業延長
- ・ 八代射撃場 1,974 人(前年度 2,175 人)

(平成28年度～平成32年度)

- ・ 緑が丘スポーツ公園 242,930 人(前年度 208,103 人)

b 直営施設

- ・ 境川自転車競技場 10,653 人(前年度 8,314 人)

(3) スポーツの啓発

① スポーツ情報発信

a インターネットの活用

- ・ インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行った。
- ・ やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ・ やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行った。

b 広報誌の活用

- ・ 情報交換と提供の場として体育協会広報誌「やまなし体協」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行した。
- ・ スポーツ振興事業等の情報提供の場として「やまなし体協スポーツガイド」を山梨日日新聞に広告掲載した。

② 各種表彰

a 体育協会表彰

山梨県下の体育・スポーツの普及と発展に貢献した個人並びに団体を表彰した。

体育功労者78人 特別優秀選手7人 優秀選手40人・団体9チーム

特別優秀指導者0人 優秀指導者0人 奨励賞9人・団体3チーム

計 134人、12団体

b スポーツ少年団表彰

スポーツ少年団の優秀指導者2人を表彰した。

c 候補者の選考・推薦

文部科学省生涯スポーツ功労者、生涯スポーツ優良団体表彰、やまなしスポーツ賞、日本体育協会公認スポーツ指導者表彰、日本スポーツ少年団顕彰、ミズノスポーツメントール賞、日本スポーツグランプリの選考・推薦を行った。

## 6 国際交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

・ 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行った。

(ア) 派遣事業 平成29年7月30日(日)から8月17日(木) 派遣なし

(イ) 受入事業 平成29年7月28日(金)から8月 1日(火) 南都留地区(都留市)

受入団員9人 指導者1人

(2) 東京オリンピック・パラリンピック

山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部及び関係加盟団体と連携し、事前合宿等の誘致に向けた業務を推進するとともに、山梨県事前合宿等誘致連絡会議において連絡調整を図った。

## 7 スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上と補償制度の推進

(1) スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

① ガイドラインの運用

遵守すべき基準や運営の透明性確保等のガバナンス(内部統治機構)の実現に向け、策定したガイドラインの浸透を図った。

② アンチ・ドーピングの啓発

a アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催し

た。

第1回 平成29年6月24日(土) 12競技 参加者49人

第2回 平成29年7月 6日(木) 20競技 参加者54人

③ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴言、セクハラ等、指導方法の中に起こりうるハラスメントについて注意喚起を行った。

④ スポーツにおける暴力等相談窓口の設置

暴力等相談窓口設置規程に基づき、スポーツ振興課内に相談窓口を設置した。また、リーフレット及びポスターを作成、配布し、相談窓口の周知を図った。

⑤ スポーツ仲裁自動応諾条項の採択の普及

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展に寄与していく組織づくりの機会になるよう、スポーツ仲裁自動応諾条項の採択を加盟競技団体へ促した。

⑥ フェアプレイ宣言の推進

スポーツを真に楽しく行う上で欠かせないフェアプレイを推進するため、日本体育協会で推進している奨励ワードやロゴをスポーツ活動の資料等に掲載した。

(2) 補償制度の推進

① スポーツ安全保険の加入促進

安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進した。

② スポーツ傷害見舞金の給付

スポーツ傷害見舞金制度の対象となる団体に対し周知を行った。

見舞金給付件数 0件

③ 主催者賠償責任保険の加入

本協会及び加盟市町村体育協会、加盟競技団体が主催する事業における賠償責任体制を強化するため、賠償責任保険に加入し、リスクの軽減を図った。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行い、スポーツの普及・支援の担い手として事業を展開した。

① レストランの運営

・営業時間 午前11時から午後2時まで(火曜日は休業)※祝日の場合は営業、翌日休業

・販売品目 ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時約30品目

・営業日数 290日/年(前年度実績 297日/年)

・提供食数 13,119食/年(前年度実績 13,121食/年)

② 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行うほか、各施設の受付において、スポーツ用具(テニスラケット他)の貸出やテニスボール等の販売を行うなど、施設利用者のニーズに応えた売店運営を行った。

・営業品目 臨時売店:焼きそば、飲料など約10品目

受付販売:バスケットボール等の貸出、テニスボール等の販売

③ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び軽食類

などの販売を行った。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園	44台(プール開放期間中は5台追加)
緑が丘スポーツ公園	10台
富士北麓公園	6台
八ヶ岳スケートセンター	4台(11月下旬から2月中旬まで)
境川自転車競技場	2台
八代射撃場	1台

④ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナ及び八ヶ岳スケートセンターにおいて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行った。

・貸靴種目 フィギュア他3種 約800足

・貸靴実績 小瀬アイスアリーナ 個人14,730足/年(前年度実績13,322足/年)  
団体 8,902足/年(前年度実績11,572足/年)  
八ヶ岳スケートセンター 個人 3,439足/年(前年度実績 3,770足/年)  
団体 7,118足/年(前年度実績 6,419足/年)

⑤ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え安全性が高いトレーニング器具を設置し、小瀬スポーツ公園の利用促進を図った。

⑥ スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画、写真コンクールを実施し、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図った。

⑦ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画した。

・クリスマス企画、バレンタインデー企画、ホワイトデー企画(利用者へプレゼント配布)

⑧ 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

## 2 利用効率の向上

管理する各施設の利用効率の向上を図るため、民間企業の会議室利用など、公益目的以外の施設利用も積極的に推進し、施設の有効活用を図った。

### 理事会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
第1回	平成29年 6月 6日	1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度予算の補正及び決算について 3 平成29年度事業計画の変更並びに予算の補正について 4 副会長の選定について 5 平成29年度定時評議員会の招集について
第2回	平成29年 8月 8日	1 公益財団法人山梨県体育協会表彰について 2 山梨県知事等に対する要望について
第3回	平成30年 3月15日	1 基本財産について 2 平成30年度事業計画について 3 平成30年度収支予算について 4 諸規程の改正について 5 平成29年度臨時評議員会の招集について

### 評議員会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
定時	平成29年 6月22日	1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度決算について 3 平成29年度事業計画の変更並びに予算の補正について 4 理事の選任について 5 評議員の選任について
臨時	平成30年 3月23日	1 平成30年度事業計画について 2 平成30年度収支予算について